

令和4年度「横浜市食の3Rきら星活動賞」受賞者決定！

1 概要

横浜市では、食品廃棄物の発生抑制、再生利用、啓発等で、他の模範となる取組を行い、顕著な功績を挙げている事業者等を表彰し、その取組を広く紹介することにより、食品廃棄物のより一層の削減を図ることを目的に「横浜市食の3Rきら星活動賞」を実施しています。

このたび、次の2事業者を受賞者として決定しました。

2 受賞者と主な取組

株式会社横浜食品サービス

「端材の商品化にチャレンジ」

食品加工時に発生する端材は、食べられる部分があるものの商品として利用することが難しいため、多くが食品ロスとなっています。株式会社横浜食品サービスは、まぐろたたきの製造過程で生じた端材をハンバーグにするなど、端材の商品化に積極的に取り組んでいます。

また、横浜市立大学国際商学部柴田ゼミと連携し、ゼミ生のアドバイスを受けながらハンバーグの食感を改善したほか、ハンバーグ入り弁当の共同開発や、同大学食堂での定食販売を行うなど、学生のアイデアを取り入れた独自性の高い取組を行っています。



端材を使用した冷凍まぐろハンバーグと豆腐

株式会社 StockBase（ストックベース）

「買換えで不要となった備蓄食を有効活用」

株式会社 StockBase は、買換えで不要となった企業保有の備蓄食が廃棄されないよう、フードバンク等への提供を進めることで、食品ロス削減に取り組んでいます。企業が同社のWEBサービスに備蓄食を登録すると、WEB上でフードバンク等とのマッチングが行われます。企業が独自にフードバンク等を探す場合、受入先を探したり、引渡しの連絡調整などの手間が生じます。同社のサービスによりこうした負担が軽減され、備蓄食を提供しやすい仕組みが構築されています。



StockBase を介した備蓄食の有効活用

3 その他

受賞者に対して個別に表彰を行いました。表彰時の写真などもご提供できますので、ご連絡をお願いします。

<株式会社横浜食品サービス>



左側 : 代表取締役社長 瀬戸 清 様
中央 : 横浜市立大学国際商学部 大学院
国際マネジメント研究科 准教授 柴田 典子 様
右側 : 横浜市資源循環局
事業系対策部長 小林 正裕

横浜市立大学国際商学部柴田ゼミ学生

<株式会社 StockBase (ストックベース) >



中央 : 代表取締役 関 芳実 様
左側 : 取締役 菊原 美里 様
右側 : 横浜市資源循環局
事業系対策部長 小林 正裕

お問合せ先

資源循環局一般廃棄物対策課長 峰 聡明 Tel 045-671-2558